

The way forward トップインタビュー

来たるべき大きな変化に備え 大胆かつ慎重に、飛躍への挑戦を。

今期前半はコロナ禍による世界の工場の生産停止などによって、自動車業界が大きく失速。この業界に深い関わりを持つ当社もあおりを受け、事業計画を大きく下方修正しなければなりませんでしたが、しかし後半には中国が急速な経済回復を見せたこともあり、売上が好転。通期では減収減益となりましたが、社会の厳しい状況を踏まえると健闘できたと考えています。

今後は世界の経済が回復局面に向かう中で、急速な社会構造の変化が予測されます。その流れに乗じて、さまざまな領域で二極化が進むでしょう。同じ産業内においても、ある分野は伸び、ある分野は停滞するという需要の明暗が、いま以上にはっきりするはずですが、私たちはその潮目を的確に読み取り、経営方針や戦略に反映していく必要があります。MORESCOは複数の事業を展開し、特定の産業分野に依存しない全天候型の経営が特長。売れ行きが好調なホットメルト接着剤などの販促を強めつつ、需要が伸び悩む製品については販売や研究開発の戦略を見直すなど、経営の重心を柔軟に移動させて、この難局に立ち向かっていきます。また現代の企業間競争は、自社の成長だけを考える視点では勝ち抜けません。持続可能な社会の実現に向けて力の活かしどころを探っていくことが、結果的に成長産業の勢いに乗っていくことにつながるのではないかと思います。当社では有機デバイス用封止材の黒字化への目処が立ったほか、ライフサイエンス分野など新規事業が着々と成長中。既存事業においても、DXを進めながら新たな研究開発に積極的に取り組み、一部はすでに製品化に漕ぎつけています。これらのポジティブな材料を原動力に5年後、10年後に向けて現在の取り組みを加速させ、MORESCOは進化を続けます。



株式会社 MORESCO

代表取締役会長 CEO 赤田 民生

MORESCO 3カ年計画

第9次中期経営計画(2021~2023年度)について

代表取締役社長 社長執行役員 COO 両角 元寿



本中期経営計画は従来の延長線上ではなく、新たなMORESCOをスタートさせる決意を示すものです。それを象徴しているのが中期経営方針の項目1にある、持続可能社会への貢献。多様な課題を抱えるこれからの社会で生き残るためには、より世界に貢献できる企業へと自らを変えていかねばなりません。そこで当社はこの領域において、社会を巻き込み動かしていくアクションを計画。従来どおり顧客のニーズに応える製品展開も進めますが、本計画期間内では各事業部の大きなミッションとして、オリジナル技術を活かした新ビジネスを生み出すことを掲げます。当社の全く新しい製品が起点となって、お客様の新たな研究・開発につながるような提案を行っていきます。研究開発型企業としての強みを最大限に発揮し、社会、環境課題に対して何ができるのか。企業の生産効率や現場環境改善への意識が高まっているいまを好機として、MORESCOなりの答え＝独自のハイエンド製品を提供し、成長を続けます。なお当社を取り巻く経済環境については、世界の生産・製造状況が従来の水準に戻るのには22年頃と想定。このような市況を踏まえ、23年に過去最高益をあげていく計画を立てています。目標達成に向けて、グループ一丸となって取り組んでいく新生MORESCOにどうぞご期待ください。

中期経営方針

- 1 当社グループの経営資源を最大限活用し、持続可能社会の実現に貢献する。
- 2 営業と開発の強みを相互に活かし、事業の付加価値向上と新事業分野へのチャレンジを加速する。
- 3 継続的な技術革新によりものづくりの競争力を強化し、製造原価の低減と品質の向上を図る。
- 4 管理部門の抜本的な改革により業務効率の改善を図り、MORESCO流動き方改革を推進する。
- 5 コンプライアンス・リスクに対して高い意識をもち、ステークホルダーの信頼を高める。

売上高・経常利益の計画(連結)



MORESCO「3カ年の主な成長要因」

- 高付加価値製品の販売推進
- 環境対応型製品の開発強化
- 原価低減や間接部門の効率化の促進
- 新事業・新分野へのチャレンジ

「もっと」世界が、未来が求めるMORESCOグループへ。 技術の進化と新たな戦略を、さらなる飛躍の足がかりに

生産活動における環境汚染を軽減

MORESCOの技術で、もっとクリーンな地球を！



本計画策定において重点を置いたのは、持続可能性に貢献する製品開発・販売の強化。現在コロナ禍の影響もあり、各社が経営方針や生産体制の見直しを進めています。これは改善効果の高い高付加価値製品に強みを持つ、MORESCOの提案チャンスと言えます。従来品の改良だけでなく、全く新しい環境対応型製品の開発にも注力。当社の技術だからこそ実現できる新市場の開拓を目指しながら、サステナブル社会の構築につなげていきます。

環境負荷低減に貢献する製品

- 水溶性少量塗布型離型剤：生産活動における省資源・省エネ化を実現
- 低VOC（揮発性有機化合物）型ホットメルト接着剤・反応型ホットメルト接着剤：有害な溶剤を含まず環境汚染を低減
- 植物由来樹脂配合ホットメルト粘着剤（バイオスマーク取得）
- 水溶性少量塗布型離型剤（オイルフリータイプ）
- 難燃性作動液のリサイクルシステム

ほかにも！

より健康で豊かな暮らしに寄与するナノエマルジョン

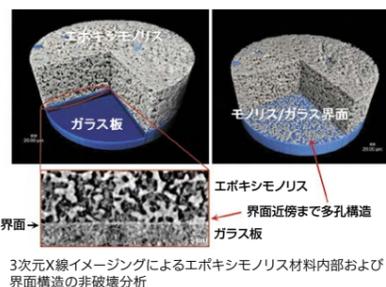
当社のナノエマルジョンは、他社製品と比べてサイズが小さく、人や農作物への吸収効率が高くなるのが期待されています。また、これまで実現できなかった素材や物質の配合が可能となるため、化粧品、医薬品、食品など健康分野への幅広い応用が見込まれています。これまでの常識を覆し、新しい市場を生み出す製品として実用化を目指していますので、今後の動向に引き続きご注目ください。



MORESCO 年間トピックス

9月 | 大阪府立大学、(株)リガクとの共同論文を発表

大阪府立大学、株式会社リガクとともに、異種材料接合に重要となる材料の内部や界面構造を非破壊検査法によって解明。本研究は界面化学の専門誌「Langmuir」に掲載されました。今後もさらなる成果のため研究を続けていきます。



11・12月 | 海外子会社(タイ・中国)が展示会に出展

MORESCO(Thailand) Co., Ltd. が「METALEX」に、天津莫莱斯柯科技有限公司が「Filtration & Separation Asia」に出展。それぞれ交流のあった方々へのアプローチを中心に、新規拡販につなげていきます。



12月 | 「ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰」受賞

ワークライフバランス実現のために先進的な取り組みを行っている企業として、兵庫県より表彰いただきました。これからも従業員の声を反映しながら、よりよい職場づくりを行っていきます。



2月 | ホットメルト粘着剤がバイオスマークを取得

植物由来樹脂を25~30%配合したホットメルト粘着剤3品番を開発し、認証を受けました。今後は、バイオマス由来原料の特長を活かした新製品の開発にも取り組み、新市場の開拓に努めます。



当連結会計年度の売上高は24,479百万円(前期比9.6%減)となり、経常利益は1,030百万円(前期比34.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は518百万円(前期比33.3%減)となりました。

売上高と営業利益率



経常利益と経常利益率



海外売上高と海外売上高比率



1株当たり配当金と配当性向



自己資本と自己資本純利益率(ROE)

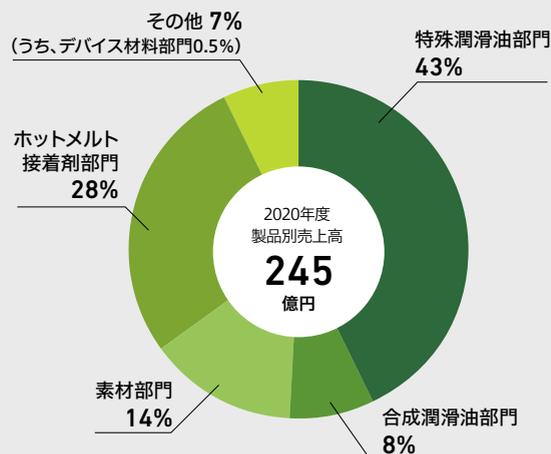


セグメント情報



**環境関連製品の需要は維持するも
通期では減収減益に。**

自動車生産関連製品の需要が落ち込んだほか、経済停滞に伴う設備投資の減少や生産調整等の影響を受け、各分野の売上が減少。一方、宅配便の増加による荷札シール需要や、環境意識の高まりによる空気清浄機へのフィルター需要が強まり、ホットメルト接着剤の売上は期間を通して堅調に推移しました。

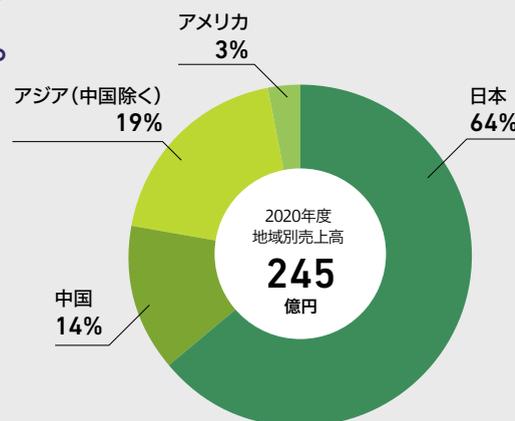


特殊潤滑油	合成潤滑油	素材	ホットメルト接着剤	デバイス材料
自動車生産の停滞に伴い売上が減少しましたが、環境対応型製品を中心に下期以降の売上は堅調に推移しました。	高温用潤滑油は自動車生産の停滞により減収、ハードディスク表面潤滑剤はSSDへの置換の進展等により減収となりました。	リチウムイオンバッテリー用途での流動パラフィンの需要が伸びなかった影響等で、売上が減少しました。	衛生材、粘着用途での出荷は堅調でしたが、自動車内装関連用途での出荷が減少。全体売上は前期比微減でした。	有機EL用封止材は増収、ガス・水蒸気透過度測定装置は顧客の設備投資の延期等により減収となりました。



**世界的に自動車生産需要が低下する中、
経済回復を見せる中国では増収増益に。**

中国では自動車生産台数が回復し、ダイカスト用油剤等の売上が堅調に推移。ホットメルト接着剤も、フィルター用途での出荷が大幅に増加した結果、増収となりました。一方、東南/南アジアでは自動車生産関連製品の需要が大幅に減少した結果、減収に。同様の理由から北米でも減収となったものの、高付加価値製品の売上構成比率の上昇、および販管費の抑制により増益を確保しました。なおインド子会社はコロナ禍の影響を受け、引き続き活動の停滞を余儀なくされています。



株主優待のご案内

株主の皆様におかれましては、日頃よりご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。すでにお知らせしておりますとおり、長期保有いただいている株主様のご支援にお応えすること等を目的として、2021年2月末日現在の株主様への贈呈分から株主優待制度を以下のとおり変更いたしました。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

ご優待内容

保有株式数および保有年数	優待の内容
100株以上かつ保有年数3年以上	クオカード1,000円

毎年2月末日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式1単元(100株)以上保有されており、かつ3年以上保有いただいている株主様を対象といたします。

保有年数3年とは、当社株主名簿に同一株主番号で継続して3年以上記載または記録されることを意味します。

贈呈時期

毎年5月下旬に事業報告書に同封して送付いたします。
※本事業報告書に同封しております。

〈当社株式の保有期間の確認方法について〉

ご自身が保有されている株式の保有期間の確認をご希望の株主様は、下記の番号にお問い合わせの上、株式の異動に関する証明書の発行をご依頼ください。

【連絡先】三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

【電話番号】0120-094-777(通話料無料)

【受付時間】土・日・祝日等を除く平日9:00~17:00

会社概要・株式情報 (2021年2月28日現在)

■会社概要

商号 株式会社MORESCO
設立 1958年10月27日
資本金 2,118,294,000円
従業員数 391名

■本社および事業所

本社・研究センター 神戸市中央区港島南町5丁目5-3
電話078-303-9010(代表)
支店 東京支店/大阪支店
営業所 名古屋営業所
工場 千葉工場/赤穂工場

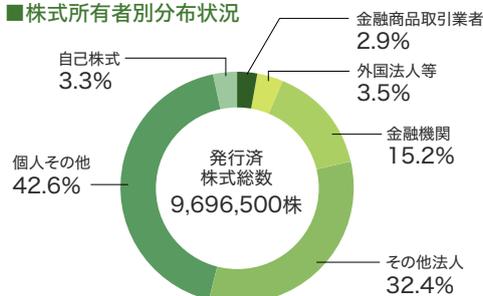
■役員構成 (2021年2月28日現在)

代表取締役会長 CEO 赤田 民生
代表取締役社長 社長執行役員 COO 両角 元寿
取締役 上席執行役員 海外担当 瀬脇 信寛
取締役 上席執行役員 CTO 坂根 康夫
社外取締役 リ・ジュ・ジュディリン
取締役 常勤監査等委員 作田 真一
社外取締役 監査等委員 町垣 和夫
社外取締役 監査等委員 中上 幹雄
社外取締役 監査等委員 中塚 秀聡

■株式の状況

発行可能株式総数……20,000,000株
発行済株式総数……9,696,500株
株主数……16,604名

■株式所有者別分布状況



■大株主

株主名	持株数	持株比率
松村石油(株)	1,067,000	11.4%
コスモ石油ルブリカンツ(株)	503,000	5.4%
MORESCO従業員持株会	394,020	4.2%
日本曹達(株)	365,000	3.9%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	338,500	3.6%
双日(株)	327,000	3.5%
スターライト工業(株)	326,000	3.5%
(株)みずほ銀行	250,000	2.7%
(株)三菱UFJ銀行	250,000	2.7%
大阪中小企業投資育成(株)	209,000	2.2%

※持株比率は自己株式(321,070株)を控除して計算しております。

【ご注意】

- ◎株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- ◎特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- ◎未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

株主メモ

■事業年度

3月1日~翌年2月末日

■期末配当金受領株主確定日

2月末日

(中間配当を行う場合)

8月31日

■定時株主総会

毎年5月

■株主名簿管理人および

特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

■同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社

大阪証券代行部

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目

6番3号

TEL:0120-094-777(通話料無料)

■上場証券取引所

東京証券取引所

公告の方法

電子公告により行う

公告記載URL

<https://www.moresco.co.jp/ir/notice.php>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に公告いたします。)